

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	シニアワークカレッジ運営事業										事業コード	100701660114		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実					
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出								施策コード	711			
事業担当	所属	030100 市長公室経営戦略課						所属長	森下 邦治					
会計情報	款	10 教育費		項	07 大学費		目	01 大学振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	一													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 労働人口が減少するなかで生産性を向上させるには、デジタルトランスフォーメーション(DX)による業務の効率化が重要となっている。 このため地域における労働力不足に対応するため、地域のデジタル人材を育成することによって行政、企業や事業所におけるDX推進と、シニア世代の更なる活用を目的とする福知山公立大学の情報技術の知見を活かした市民向け講座を提供する。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域の企業や事業所、行政におけるDX推進と、シニア世代の更なる活用を目的として始めたが、スキルアップをめざし専門的で高度な内容の講座を設定しても受講希望者が極端に少ないことや、受講者が多い講座では受講者の理解進捗度が一定にならないなどの問題が生じる。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)とシニア世代等の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設し、市内企業・事業所の従業員にリスキリング教育(学び直し)によるスキルアップに繋げる。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山公立大学の知見を活用し、AIやデータサイエンスなどビジネスの現場で活用できる情報学講座を福知山公立大学に委託。 【令和6年度実施プログラム】 ・データサイエンスと数理コース:12人 ・AI人材育成コース:2人 ・広報用動画制作コース:13人 ・Pythonプログラミング入門とドローンの自動操縦コース:11人										
対象者	シニアワークカレッジ受講者					対象者数	38		単位あたりコスト	173.5	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	2,000		2,000		1,765		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		2,000		2,000		1,765		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		803		0				
	② 国支出金	1,000		1,000		882		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,000		1,000		80		0				
決 算 情 報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	2,000		2,000								
	③ 執行額	2,000		1,714								
	④ 執行率	100.0%		85.7%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.33	/	0.80	0.33	/	0.80	/				
	② 概算人件費	4,880		4,880								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,880		6,594								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	シニアワークカレッジ運営事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種 類	教育費国库補助金		850	実績金額	決算附属資料	20	頁
			シニアワークカレッジ運営事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		850			40	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム…下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%		100	77.1	84.4			
	「講座で学んだ知識や技術は業務や活動にいかせる」と回答した割合	目標値			90	90	90	90	90	
			達成度	%		111%	86%	94%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット…アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		58	42	38			
	講座受講者数				30	64	64	50	80	
		当初見込								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ…アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	参加者が少なかった講座を取りやめるとともに、アンケート調査等によりリスキリング教育のニーズに合わせた講座内容を大学と検討し、積極的な広報活動を行っていく。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・ビジネスチャットツール(Slack)を活用し、講座開催日当日だけでなく普段から参加者同士や講師との意見交換や質問の受付を実施していることから、講義内容だけでなく参加者のネットワークづくりなどの面においても参加者の満足度は高い。 ・コースによって参加者数にばらつきがあったが、シニア世代のみならず幅広い年齢層の参加を得た。 ・DX化推進のための専門的で高度な内容の講座では受講希望者が極端に少なく、また他の講座でも受講者のレベルに差異があるため講座に対する理解進捗度が一定になっていない。
現状の課題に対する改善策	・参加者が少なかった講座を取りやめるとともに、デジタル技術初心者でも参加しやすい講義とするため、令和7年度は1講座において、試行的に「基礎編」と、そこからさらに高度なデジタル技術を学びたい人に向けた「発展編」に講座を分割して行うなどし、ニーズに合わせた講座内容となるよう変更を行っていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業										事業コード	030101430398				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実							
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出								施策コード	711					
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課						所属長	由里 典栄							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	103		頁
計画期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市高等技能訓練促進給付金事業実施要綱他															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得やキャリア形成により収入の増加が課題。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 資格取得期間中は収入が減少し生活困窮となる世帯がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得、キャリア形成ができるよう給付金を支給する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること (1)高等技能職業訓練促進給付金 就業に結びつきやすい資格(看護師、准看護師など)を取得するための養成機関に修学中、生活の負担を軽減するために支給 修学支援金 非課税世帯月100,000円課税世帯月70,500円、最終年度40,000円加算あり 修了一時金 非課税世帯50,000円課税世帯25,000円 (2)自立支援教育訓練給付金					
対象者	児童扶養手当受給者数		対象者数	498	単位あたりコスト	31.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	12,522		16,375		11,498		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		12,522		16,375		11,498		0				
予算財源内訳	① 一般財源	3,131		4,094		2,875		0				
	② 国支出金	9,391		12,281		8,623		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	143		0								
	② 配当予算	12,665		16,375								
	③ 執行額	12,665		14,427								
	④ 執行率	100.0%		88.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.06	/	0.25	0.06	/	0.25			/		
	② 概算人件費	1,180		1,180								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,845		15,607								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	母子家庭等対策総合支援事業		種類	民生費国庫補助金		実績金額	11,520		決算附属資料	16	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100					
		目標値		100	100	100	100	100			
	就職率		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9	14	11					
	福知山市高等技能訓練促進給付金事業を何人受けるか(当初見込)、何人が制度を受けたか(活動実績)			10	10	14	14	14			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	ひとり親世帯の親に対して、就業に結びつきやすいスキルを取得するため、養成機関に就学中の生活費の負担を軽減するように給付金を支給する。 また、養成機関に通学しやすいように、本人が支払った受講料の一部を支給する。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・11人の方が制度を利用し看護師資格又は准看護師資格等の取得をめざされている。 ・取得後は資格を生かして就職され、経済的自立や看護師不足の解消に寄与している。 ・対象者が毎年10人程度と少ない。								
現状の課題 に対する 改善策	更に積極的な広報を図る。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	ふるさと就職おうえん事業										事業コード	070102320201				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち							政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実						
	施 策 名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出									施策コード	711				
事業担当	所属	250500 産業部産業課							所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	173		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 若者の都市部への流出や昨今の事業所の慢性的な人材不足など、市内の雇用情勢は日々変動しており、これらに即応する多角的な支援が必要である。求職者のスキル向上をめざしたセミナーや事業所と求職者のマッチング機会となる大規模イベントの開催、各種制度紹介などによる定着支援を行うなど、国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が一体となって取り組んでいる。													
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本市の有効求人倍率は京都府内でも高い水準で推移しており、少子高齢化や進学・就職等による生産年齢人口の減少により、地域内事業所の人材確保が困難な状況にある。地域内の事業所から求人がある一方で、高校生をはじめとする地域内の若者が地元企業を知らない現状がある。進学等で地元を離れる場合であっても、地元に関心があることを知ること、Uターンにつながるよう周知する必要がある。													
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。													
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○合同企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者、UIターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 (京都北部5市2町合同企業説明会、ふくちやま就職フェスタ、福知山・綾部合同就職フェアなど) ○高校生向けの合同企業研究会(高校生JOB-EXPO)を開催し、市内の高校生に地元企業を知る機会を提供する。 ○京都ジョブパークとの共催により、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ○若手社員合同研修、企業ガイド、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー及び個別就職相談会を開催する。													
対象者	市内事業所・就職希望者				対象者数		—		単位あたりコスト		#VALUE!			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (E絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会)													
委託先・実施主体等	福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会													
主な支出に係る 業務内容と経費	費目		実績(R6)		主な業務内容				費目		実績(R6)		主な業務内容	
	負担金補助及び交付金		3,390		福知山雇用連絡会議負担金、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,324		3,666		3,966		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		3,324		3,666		3,966		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	679		1,688		552		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	2,645		1,978		3,414		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	3,324		3,666									
	③ 執行額	3,271		3,390									
	④ 執行率	98.4%		92.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.65	/	0.20	0.61	/	0.20	/		/			
	② 概算人件費	5,760		5,440									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,031		8,830									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	ふるさと就職おうえん事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	商工費国庫補助金		実績金額	414		決算附属資料	17	頁
			ふるさと就職おうえん事業(きょうと地域連携交付金)			商工費府補助金			1,143			26	
			ふるさと就職おうえん事業基金繰入(ふるさと就職応援基金)			基金繰入金			1,770			37	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人		18	38	43			
		目標値			40	40	40	40	40	
		就職内定者数(福知山市内事業所)	達成度	%	45%	95%	108%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		543	791	778			
		就職説明会参加者数			200	500	500	500	500	
			当初見込							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	求職者に対してイベントの周知のほか、就職活動支援として就職セミナーやパソコン講座等を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ○本市の有効求人倍率は京都府下でも高い水準で推移しており、市内事業所にとっては人材不足が課題となっている。 ○近年のイベント開催時には、「高校生JOB－EXPO」、ふくちやま就職フェスタ、福知山公立大学生を対象とした「業界・企業研究会」は、参加者数が参加事業所数を大きく上回っているが、参加者数が参加事業所数を下回るイベントもあるため、参加者数を増加させるための広報手段、事業内容の強化が求められる。								
現状の課題 に対する 改善策	○イベントの認知度を高めるため、住民に対してチラシ、ダイレクトメールによるイベント周知を行う。 ○学生、一般求職者、仕事と家庭の両立を望まれる求職者などを対象とする合同企業説明会をそれぞれのニーズに合わせた形(対面とオンラインのハイブリッド式)で開催し、求職者と事業所のマッチングを図る。 ○大学生や高校生向けの業界・企業研究会を開催するとともに、企業ガイドを幅広く配布(福知山雇用連絡会議ホームページにも掲載)することを通じて、地元企業を広く知っていただく機会を設ける。 ○市内求職者に加え、市外からのUIターン希望者にも魅力的な情報を届けられるよう、ハローワーク福知山や北京都ジョブパーク、近隣市、移住定住関連事業との連携を更に深める。								